

令和元年度の主要質問項目一覧

市議会3月定例会(令和2年3月5日)

- ・新型コロナウイルス発生後の奈良観光の状況について
- ・消防救急デジタル無線機に関する物品供給契約の締結における談合の損害賠償請求の提訴について
- ・避難所運営の効率化について

市議会3月定例会 予算決算委員会 総務分科会(同3月12日)

- ・アスベストの対策費について
- ・新型コロナウイルス発生後の市の対応
- ・令和2年度予算の主要な施策
- ・会計年度任用職員制度移行について
- ・奈良市長の損害賠償責任の条例について

総務会(同2月12日)

- ・災害対策 ・宿泊税 ・リスクマネジメントについて ・予算

補正予算特別委員会(令和元年12月10日)

- ・債務負担行為の補正追加 ・福祉基金について

市議会12月定例会一般質問(同12月5日)

- ・大和西大寺駅周辺整備 ・予防消防の体制
- ・奈良観光の交通渋滞 ・起業家支援

総務委員会(同11月12日)

- ・危機管理 ・宿泊税 ・奈良市第5次総合計画策定について
- ・選挙の執行について

市議会9月定例会(同9月19日)

- ・消防広域化と消防指令業務の運用 ・奈良市防災訓練
- ・新・奈良市行財政改革重点取り組み項目について
- ・企業誘致 ・SDGsの推進取り組みについて

決算審査等特別委員会 総務文科会(同9月25日)

- ・財政力指数、経常収支比率、歳入歳出など決算について

総務委員会(同8月20日)

- ・ため池「にごり池」の決壊案件 ・消防職員の採用
- ・避難所配置員に対するテストメールについて ・予算編成

市議会6月定例会(同6月17日)

- ・災害拠点病院、市立奈良病院の事業継続計画
- ・避難勧告に関するガイドライン

総務委員会(同5月14日)

- ・組織改革における廃止統合 ・組織人員配置の見直し

西大寺駅北側駅前広場の整備へ着手

奈良市のまちづくりの資金に
なる国の「社会資本整備総合交付金」
の獲得のため、



昨年11月には
同僚議員らと
ともに上京し、
国土交通省や
財務省への要
望活動を行い
ました。写真。
市議会12月定
例会では、近
鉄大和西大寺

駅の南北自由道路や橋上駅舎工事、
西大寺南土地区画整理事業、北側街
路樹木の進捗について質問しました。

西大寺南土地区画整理事業につ
いては、平成31年度末の面積ベ
ースでの進捗率は97%になり、
補償を擁する残物件は1棟になっ
ています。市は残り1棟の借家人
73軒の移転補償調査を進め、退
去完了を目指すとして答弁しまし
た。

文化財を守るため 火災予防業務強化を

昨年10月、沖繩県那覇市の首
里城が火災に見舞われました。奈
良市の文化財に対する予防対策
について質問しました。わたしの
調査では奈良市の中で文化財が
最も多く存在する地域を管轄し
ている中央消防署では約4000
件の対象物があります。専門的
な予防業務の体制の充実強化を
災害予防業務の体制の充実強化を

訴えました。
市では日常の立ち入り防火指導
に加えて、文化財社寺との合同訓
練などを行っている旨の答弁があ
りました。また予防体制の職員の
配置は、限られた人材で効果的に
業務が行えるよう、各署で指名さ
れた予防担当者が協力して査察を
実施する「特命査察隊」を組織。
また予防の専門知識を習得するた
めの研修を定期的開催し、予防
技術資格者の養成を進めていくと
の回答があり、市は予防体制の向
上に努めていくと話しました。



長野市で復旧作業に参加

災害時の支援受け入れ体制構築求める

意を得て、境界立ち合いを終えて
建物調査を進めている状況です。
補償調査も大半を終え、市は個別
の交渉を行っています。それぞれ

昨年11月4、5の両日、わた
しは奈良市災害ボランティアに参
加させていただき、長野市で復旧
作業に携わらせていただきました。
その際、災害時に国や他の自治体
から支援を受け入れるためのマニ
ユアル「受援計画」の必要性を肌
で感じ、総務委員会でのことを
質問しました。

の補償契約が完了次第、テナント
の転出をはじめ、解体・整地を行
い、駅前広場の整備に着手してい
く考えです。

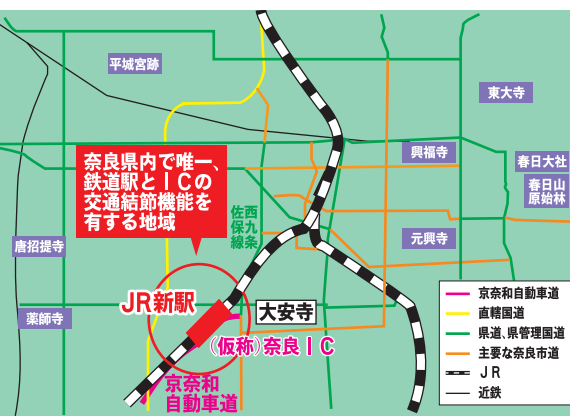
市は、人的・物的支援をスムー
ズに受け入れるため、令和元年度
9月30日付けで「市災害時受援
計画」の第1版を作成したとし、
年度内を目安に県や関係機関と調
整し、第2版への改定を予定して
いると答弁しました。

新駅周辺や西名阪沿いに企業誘致

厳しい財政状況が続く市は「新・
奈良市行財政改革重点取組項目」
を策定しています。これらの評価
について質問を行い、また市の歳
入につながる企業誘致について、
仲川元庸市長の考えをただしま
した。

市議会6月定例会の一般質問で
は、災害拠点病院の指定を受けて
いる市立奈良病院について質問を
行いました。被災後、早期に診療
機能を回復できるように業務継続計
画の整備を行っているか、被災状
況を想定した研修や訓練を行って
いるか、災害時の水の確保など、
平時から万全の体制の構築を求め
ました。

市立病院、災害時の 万全な体制求める



わたしの質問に対して市は「年
1回、災害訓練に合わせて業務継
続計画に基づいた研修と訓練を実
施している。また幹部職員を対象
に別途研修を開催し、業務継続計
画の充実を図っている」と答弁。
また水の確保については「受水層

の120リットル(3日分)の水を確保
しており、断水時にも対応可能な
井水設備を備えている。非常用発
電機の燃料となる重油は3日分、医
薬品は5日分、入院患者の飲料水
や非常食は3日分を確保している」と
答弁しました。



災害拠点病院の指定を受けている市立奈良病院

facebookで市政情報や
さまざまな地域活動の
情報を発信しています。



薬師寺
「花会式」の「鬼追い式」に
消防団で火の警護。



近鉄大和西大寺駅
4月19日から北口と
南口を結ぶ南北自由
通路の一部が開通。



平城宮跡
歴史公園
合同消防訓練
に参加。



若草山焼き
2020
若草山正面南側を担当。